

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人カナンの園 多機能型事業所ゆいまある (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年12月8日 ~ 2025年12月19日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2025年12月8日 ~ 2025年12月18日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・少人数での発達支援をおこなっている。	・子どもに添った発達支援を行うため、一対一や二～三対二での発達支援をおこなっている。	・発達段階、感覚など様々な観点からのアセスメントを用いていく。
2	・応用行動分析、感覚統合、ティーチャーズ・トレーニングを柱に発達支援をおこなっている。	・応用行動分析については講師が来訪し、発達支援の場面をみて頂き、見立てや助言を頂いている。感覚統合、ティーチャーズ・トレーニングについては研修をおこない学んでいる。	・学びを継続し、発達支援に活かしていく。
3	・Lineを活用し子どもの様子を保護者に伝えている。	・子どもの様子を写真に収め、なるべく間を開けずに保護者にみて頂けるようにしている。	・通信の発行など子育ての参考になる情報を発信していく。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・発達支援中、保護者が待機する場所がない。	・保護者送迎で預かりの発達支援を行っているため、お迎え時間によっては近場で待っていただくなどが必要となる。	・保護者の方が交流や情報交換しながら過ごせる場所を設ける。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型事業所ゆいまある(児童発達支援)

公表日 2026年2月14日

利用児童数 5名(4世帯)

回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2			2	・たくさん動き回っています。	るんだるんだを中心に活動し、交流等のホールや外など敷地内を活用し様々な活動をしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4					職員数は適切ですが、増員をするため求人活動を行っています。専門性を確保するために有資格者の確保や研修を実施しています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4				・木製のバイクで走り回っているのを見ていると、バリアフリーでいいなと感じました。	バリアフリー構造となっており、乗用玩具で自由に遊べる環境となっています。写真や絵カードなどを置いてわかりやすい環境構築に努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	4					使用後は毎回清掃し清潔な環境を保つように努めています。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					アセスメントを行い、応用行動分析を用いて特性に応じた支援をしています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4					支援プログラムをHPで公表し、お配りしています。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	4					子どもの様子や特性と保護者のニーズを聞き入れ、個別支援計画を作成しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					子どもと保護者、個々に合わせた本人支援、家族支援、移行支援を検討し支援を行っています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					5領域に基づいた支援計画を作成し意識して支援を行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4				・室内や室外、たまにトランポリンなど様々な活動があり良いと思っています。	月案を作成し、季節などに応じた活動ができるように工夫をしています。様々な場所を活用し工夫しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	4					活動時間内での交流はありませんが、るんだるんだ祭り(園祭り)を開催し地域の子ども達と一緒に楽しむ機会を持っています。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4				・丁寧に説明していただきました。	利用前の契約時に丁寧な説明となるように心がけています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					説明する際には個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行っています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4					職員全員がティチャーズトレーニングの研修を受講しました。児発管がペアレントトレーニングの研修を受講し、面談等の際にペアトレの視点についてお話をしています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4				・対面でも連絡帳でも、いつも丁寧に伝えて頂いています。 ・お茶会ありがとうございました。	日常は送迎時や連絡帳でお子さんの様子を伝え合っています。保護者茶話会ではお子さんも参加しながら、ゆっくりとお話をする時間をもちました。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4				・面談でたくさん相談させていただいて貴重な時間だと感じています。	個別支援計画の面談やご希望に応じて随時、面談を行っております。職員にとっても貴重な時間と感じております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4				・いつも優しく丁寧な先生方で感謝しています。	子育ての中で感じる喜びや戸惑いなどを共有し、一緒にお子様の成長を見守っていただけるように心がけています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4				・先日初めて参加し子どもも私も楽しみました。	保護者茶話会を年に一回開催しています。今年度は児発、放デイ合同で開催し、お子さんの様子を写真で見ながら交流の時間をもちました。ごきょうだいへの支援についてはご希望も伺いながら検討をしていきたいと思っています。

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3			1	契約時に相談、申し入れの体制について説明を行っています。日頃は面談や送迎の際などにお話を聴かせて頂き、必要に応じた対応をさせて頂いています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4				お子さんに応じて絵カードや写真カード等を用いて伝えています。今年度より、lineを活用し活動の様子をお知らせしております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3			1	・HP見ていません…。 カナンの園HPに自己評価結果を公表しております。活動概要等の情報についてはカナンの園全体の概要はHPや法人機関誌にありますが、事業所としては少ないと感じております。HPや機関誌の周知や事業所の通信などを検討したいと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				カナンの園個人情報保護規約に則って対応しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			2	各マニュアルを策定し各ご家庭に配布しております。感染症対応や救命救急についての研修を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			2	事業所では避難訓練や消火訓練、通報訓練を年2回実施しています。児発のみでの訓練は未実施の為、やり方の検討をし進めていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3			1	安全計画を立て、事業所玄関に掲示しています。建物、敷地内外、車両等の安全を確認し支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	1		1	・事故やケガなど今のところなく安全に活動しているからです。 ぶつかる、転ぶ等で出来た打ち身やすり傷などについては奥中山学園の看護師が対応しています。発生した状況についても説明を差し上げています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4				・たくさん誉めてもらって喜んで行くのを楽しみにしています。 お子さんに信頼して頂き安心感を持って活動できるように心がけています。お子さんを誉めながら良い所は更に伸ばし、苦手な事には少しづつ取り組んでいます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4				・いつも楽しみにしています。 ・先生やお友達に合うのと遊ぶのを楽しみにしています。 お子さんが楽しい、もっとやりたいと感じる活動となるように工夫や共感を心掛けています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4				・子ども自身が楽しんで通所していて、私も相談する場所があり、良かったと思っています。 今後もお子さん、保護者の方に満足して頂けるように研鑽を積み支援の質の向上に努めたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所ゆいまゐる（児童発達支援）					公表日	2026年2月14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・活動できるスペースが多く広くあり活動内容や子どもの状態に合わせて部屋を使うようにしています。	より安全、安心な環境になるように努めています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・配置基準を満たしており、状況によって児発管等が支援に入るようにしている。	子ども達一人ひとりに合わせた細やかな対応をするために増員の方向性で考えています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・靴入れや椅子に名前を貼ったり、自分の荷物を入れるカゴが分かりやすいように名前をつけています。 ・バリアフリーや視覚提示などをおこない特性に応じた配慮に努めています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・活動内容に合わせて部屋を使っています。 ・使用後は清掃を行っています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・個室が無いので個別の空間は取りにくいですが、必要に応じて個別に使用できるように環境の工夫をしています。	刺激に弱いお子さんに配慮できるように環境の工夫をしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・月案の作成や支援計画の振り返りを通しています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎年度実施し、業務内容の改善に生かしています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・随時、把握し発達支援の活動に生かしています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	・応用行動分析の講師にアドバイスを頂き見立てや活動に生かしています。	・第三者評価は実施してませんが、ご家族や第三者の意見を聴かせて頂く機会を設けたいと思います。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・必要な研修を積極的に取り入れてもらっています。 ・障害特性や支援方法についてなどの研修をオンラインや外部研修の参加で機会を持っています。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・法人HPで公表と事業所内に掲示しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・個々のアセスメントを行い、面談や子どもと家族の願いを記入して頂き、個別支援計画を作成しています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・現場担当者と児発管のやり取りを経て、管理者の確認をとっています。複数の支援者で確認することで共通理解や子どもの最善の利益を考慮するように努めています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・計画作成時の話し合い等で共有しています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・5領域に基づいたアセスメントと発達段階アセスメントシートを使用しています。	感覚についてのアセスメントなど個々に応じたアセスメントを実施していきます。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・ガイドラインを参考に各支援を踏まえながら、個々の子どもに必要な支援内容を設定しています。	職員間でガイドラインを読み込み、ねらいや支援内容を踏まえた支援項目を設定していきます。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・月案や月齢に基づいた活動プログラムをチームで確認し行っています。			

一 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・月案を作成に季節に合わせた活動を取り入れる等、固定化しないように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・個々の子どもの発達段階に合わせて、個別活動、集団活動の支援目標を定めています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・支援開始前は時間の都合で難しいため、前日等に確認し支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・支援終了後に気づいた点などを話し合ったり、応用行動分析の講師がいらした日には助言をいただき重点的に振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・日々、記録を取り支援の振り返りなどに繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・半期に一回モニタリングを行い計画の見直しを行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・児発管が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・保健師、主治医、子ども園、学校と連携して支援を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・子ども園に通っているお子さんは保育所等訪問支援を活用し支援内容等の共通理解を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・通園している子ども園、保育所の先生と同行し就学先の学校へ引継ぎを行っています。	保護者からの同意を得たうえで相互理解を進めます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4	回答無…1 ・地域に児童発達支援センターはないが応用行動分析の講師に来ていただき、スーパーバイズや助言を受けています。	
	32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	回答無…1 ・子ども園等に通っているお子さんが多く、日常的に地域の中で他のお子さんと活動しています。	保護者からの意見をお聞きして交流の機会を考えていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・日頃の送迎時での会話や面談等でこどもの状況を伝え合い共通理解を持っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・応用行動分析を中心におこなっています。 ・応用行動分析の講師をお招きして茶話会を行いました。 ・主に面談時にペアレント・トレーニングの観点についてお話をさせて頂いています。	・実際にご家庭で取り組めるように学ぶ機会や情報提供を検討していきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時に説明をしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・年度の初めに子どもと家族の願いなどを記入して頂いたり面談で意向を把握する機会を設けています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		・面談にて個別支援計画を示しながら説明を行い同意を頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・支援計画に基づいた面談とご家族からの希望に応じ随時、相談に応じています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・放課後等デイサービスの保護者と一緒に懇談会を実施しました。 ・茶話会を行ったり、るんだるんだまつりを開催して遊びに来てもらいました。	・きょうだい同志の交流について未実施の為、検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・相談があった場合には児発管を中心に早急に対応するように努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・法人機関誌を配布したり、HPに事業概要を載せています。 ・ご家族にLineの活用にご協力いただき活動の写真をみて頂けるようにしました。	SNSの活用は現在の所、考えておりません。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・契約時に個人情報の使用について承諾を頂いています。 ・個人情報については厳重に管理し、守秘義務を守るように意識しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・視覚的にわかりやすい配慮や自由遊びと療育活動の設定がわかりやすいように環境の工夫をしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		・奥中山学園と一体的にるんだるんだまつり、節分などで地域に開かれた運営を行っています。	SNSの活用は現在の所、考えておりません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・奥中山学園と一体的に感染症対策の研修や訓練をおこなっています。 ・各マニュアルをご家族に配布し周知しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・奥中山学園と一体的におこない、避難訓練、救急法講習会を行っています。	・子どもへの訓練を実施していない為、今後、実施していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・アセスメントの際に必ず確認しています。 ・利用開始時に健康シートに記載していただき把握しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	回答無…1	・食物アレルギーのある子や食事場面はありません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・奥中山学園と一体的に避難訓練や安全管理をおこなっています。 ・安全計画を作成しています。	・子どもに合わせた訓練を実施していきま
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・安全計画を作成し事業所玄関に掲示しています。	・周知が弱い為、今後、周知の仕方を検討していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・奥中山学園と一体的におこなっています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・奥中山学園と一体的におこなっています。	継続的に虐待防止研修を実施していきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・必要に応じて保護者への説明を行い個別支援計画に記載しています。	なるべく身体拘束をしない対応を検討していきます。	